

平成30年度事務事業進行管理表(自治振興センター用)
(環境ISO管理)

事務事業名	施設管理・一般業務
センター名	上郷自治振興センター

1 環境側面及びそれに伴う環境影響

通常時	非常時	緊急事態	環境側面	影響評価						著しい環境側面
				1	2	3	4	5	6	
○			紙の消費	×	×	×	×	×	×	
○			電気の消費	×	—	×	—	×	—	
	○		公用車の廃棄	×	×	—	—	×	×	

【作成上の注意】

- 「通常時」は通常の業務・作業の条件下で発生する可能性が大きい場合、「非常時」は業務・作業の開始・終了時、停止時、故障時などの条件下で発生する可能性が大きい場合をいいます。
- 「環境側面」は、環境と相互に作用する、又は相互に作用する可能性のある組織の活動又は製品又はサービスの要素です。
- 影響評価は、1：典型7公害(大気、水質、土壌、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)、2：廃棄物発生/抑制、3：地球温暖化の進行/抑制、4：自然の破壊/保全(緑地、生物多様性、水辺)、5：資源の枯渇/保全、6：その他(有害物質、景観)の分類ごとに実施します。
- 評価基準は、分類ごとに、環境側面が与える環境影響について、影響範囲、発生頻度、影響の重大性(最悪を想定)を考慮して判断します。
- 影響評価の結果の表示は、良い影響大：○○、良い影響小：○、影響なし：—、悪い影響小：×、悪い影響大：××と表記します。
- 影響評価の内容により、課長が著しい環境影響があると判断した場合は、「著しい環境側面」とし、○を入力します。

2 環境側面に伴う順守義務

法令、例規、利害関係者のニーズと期待のうち順守すると決定したもの	要求事項	順守評価	
		中間	年間
廃棄物の処理及び清掃	産業廃棄物保管場所における廃棄物の適切な保管(分別の徹底、飛散・流出・浸透・悪臭防止措置)	○	
"	産業廃棄物保管場所の表示(60cm×60cm)	○	
使用済み自動車の再資源化	リサイクル料金の支払い引き取り業者への引き渡し	—	

- 順守評価が必要なものについて記載します。
- 組織の状況等の検討表の「2 利害関係者のニーズと期待」において「うち、順守義務とするもの」と決定したものを転記します。
- 順守評価結果は、良：○、否：×、期間中に要求事項に該当する内容なし：—で表示します。

3 リスクと機会(上記1及び2に関係するもの)

リスク (マイナス要素)	紙・電気等の消費、産業廃棄物の排出
機会 (プラス要素)	グリーン商品の購入

4 環境目標

番号	区分	環境目標 ①実施事項(何を) ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準に)	年間スケジュール 環境目標達成のための 手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
				進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況
1	①	紙の消費量の抑制	両面印刷、裏紙利用の推進、会議資料の簡略化に努める。 半期ごとに検証する。	前年度上半期実績よりも少ない消費を保っている。35.8kg/半年	57%		
	②	年間を通じて					
	③	目標値63kg/yを以下にする					
2	①	ごみリサイクル率	資源ごみとなり得る燃えるごみ及び埋め立てごみの分別の徹底により、燃えるごみ及び埋め立てゴミの抑制を図る。半期ごとに検証する。	燃えるごみに紙ごみを混ぜないように周知したおかげか、リサイクル率の月平均が78%だった。	103%		
	②	年間を通じて					
	③	目標値76%以上にする					
3	①						
	②						
	③						

4 環境目標

番号	区分	環境目標 ①実施事項(何を) ②達成期限(いつまでに) ③結果の評価方法(どのような水準に)	年間スケジュール 環境目標達成のための 手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
				進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況	進捗状況・成果 (監視・測定・分析・評価)	達成 状況
1	①	森林整備等への参加者数	植樹祭、大境廻り、林道整備、財産区議員作業、モーリーの森応援隊による作業の実績をカウントする。	植樹祭(39) 議員一般作業(39) 林道整備(303+338) 計719名	####	大境廻り()	
	②	年間を通じて					
	③	H26実績数(1,180人)を確保					
2	①	森林公園を活用した事業への参加者数	野底山の自然に触れる機会を設ける。内外への情報発信により多くの来場者を得る。	遊歩道を歩こう!(37+9) バードウォッチ(26) 焼肉ロックフェス(2261) 計2,333名	1167%		
	②	年間を通じて					
	③	H26~28の平均実績数(200人)を確保					
3	①	ごみゼロ運動の参加者数	市民協働によるごみゼロ運動として、春と秋の2回、環境美化活動を行い、その実績をカウントする。	春ごみゼロ運動 参加者722名	54.7%		
	②	年間を通じて					
	③	H26実績数(1,321人)以上を確保					